

平成24年第1回(2月)掛川市議会定例会  
一般質問発言順序

- |    |     |         |
|----|-----|---------|
| 1  | 11番 | 堀内 武治 君 |
| 2  | 10番 | 草賀 章吉 君 |
| 3  | 9番  | 山崎 恒男 君 |
| 4  | 8番  | 柴田 正美 君 |
| 5  | 4番  | 山本 行男 君 |
| 6  | 2番  | 榛葉 正樹 君 |
| 7  | 20番 | 水野 薫 君  |
| 8  | 7番  | 鈴木 久男 君 |
| 9  | 12番 | 山崎 恵司 君 |
| 10 | 3番  | 川瀬 守弘 君 |
| 11 | 6番  | 栗原 通泰 君 |

平成24年第1回(2月)掛川市議会定例会  
一般質問発言順序(予定)

---

3/8 AM 11番 堀内武治君

10番 草賀章吉君

---

PM 9番 山崎恒男君

8番 柴田正美君

4番 山本行男君

2番 榛葉正樹君

---

3/9 AM 20番 水野薫君

7番 鈴木久男君

---

PM 12番 山崎恵司君

3番 川瀬守弘君

6番 栞原通泰君

## 一般質問通告要旨

議席番号	11	氏名	堀内 武治	質問の方式 (一問一答・総括)
------	----	----	-------	-----------------

### 1 乳幼児教育の充実、とりわけ保育園の入所問題について (答弁：市長・教育長)

- (1) 平成24年度当初における幼保園、保育園の待機児童数を問う。更にその深刻な実態をどう受けとめ、どう対処するか伺う
- (2) 2月23日に提言された「乳幼児教育振興計画」をどうとらえているか伺う
- (3) 掛川区域にもう1園、保育園施設が必要と考えるが見解を伺う
- (4) 幼稚園の預かり保育と保育ママ制度の充実が必要だが、充実策を伺う

### 2 在宅医療支援体制の充実について (答弁：市長)

- (1) 地域健康医療支援センター（ふくしあ）における在宅医療支援の実態、並びに小笠医師会の協力体制を伺う
- (2) 掛川市内にも「在宅療養支援診療所」機能が必要と考えるが、民設民営、場合によっては公設でも設置できるよう関係各方面に働きかける意志があるか伺う
- (3) (仮称)綾和会掛川東病院は「在宅療養支援診療所」機能を持つべきと思うが、働きかける意思があるか伺う

### 3 特定規模電気事業者（PPS）電力を導入しての経費節減について (答弁：市長)

- (1) 掛川市の電気の契約はどのようになっているか。また、本庁と関係公共施設に分け、年間電力量と電気料金を伺う
- (2) PPS電力導入に対する市長の見解を伺う
- (3) 早急に「PPS電力導入検討会」の設置を求めるが見解を伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	10	氏名	草賀章吉	質問の方式 (一問一答・総括)
------	----	----	------	-----------------

### 1 新東名高速道路の森掛川インターチェンジ周辺開発について (答弁：市長)

- (1) 県の内陸フロンティア構想と関連し、掛川市の北の玄関開発についての思いを伺う
- (2) 寺島・幡鎌地区の「まちづくり土地条例」はどのような効果を発揮するか伺う
- (3) 近隣市町のインターチェンジ周辺開発構想を把握しているか伺う
- (4) 周辺開発のために今後どのようなステップが必要と考えているか伺う

### 2 自治組織の課題とあり方について (答弁：市長)

- (1) 区長会、生涯学習センター、地区福祉協議会の設立経過と役割機能について伺う
- (2) 上記組織における課題は何かを伺う
- (3) 自治基本条例の制定により自治組織のあり方をどのように改革しようとしているかを伺う

### 3 上水道と簡易水道の料金格差是正について (答弁：市長)

- (1) 簡易水道の設立経緯と現在の課題は何かを伺う
- (2) なぜ独立した会計でなければならないか伺う
- (3) 格差解消に対する考えと方策について伺う

### 4 中山間地域の環境保全について (答弁：市長)

- (1) 中山間地の自然環境の保全について課題をどのように捉えているか伺う
- (2) 課題解決の対策をどのように講じているかを伺う

### 5 幼保一元化(一体化)の課題と対策について (答弁：市長・教育長)

- (1) 掛川市が目指した幼保園構想と国が進めようとしている総合こども園構想は同じか伺う
- (2) 掛川市の幼保一元化の成果と課題は何か伺う(保護者にとって)

- (3) 公私立幼稚園間の保育料格差の是正、就園奨励費補助金の見直しの方向性について伺う
- (4) 大東・大須賀区域の幼保再編の方針について伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	9	氏名	山崎恒男	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

### 1 新東名高速道路開通に伴う、地域活性化策について (答弁：市長)

- (1) 新東名による地域活性化の中長期ビジョンを描く必要があると思うが、どのように考えているか伺う
- (2) 倉真パーキングエリアに隣接する第二パーキングエリアの整備について、検討を進めるとのことだが、具体策はあるか伺う
- (3) インターチェンジを活用した活性化策について、専門家のコンサルタントに提案を求めたらどうか伺う
- (4) 県は新東名開通による掛川天竜線への影響はないと言うが、市長はどのように思うか伺う
- (5) インターチェンジ供用開始により、広範に波及効果が期待される。西環状線の整備促進を図る必要がある。路線決定の進捗状況と、今後の取り組み及び見通しについて伺う

### 2 自治区活性化支援等について (答弁：市長)

- (1) それぞれの自治会が抱える多種多様な市民ニーズの指導や助言等に対応する人材を求めて、支援組織を設置する考えはないか。
- (2) 施政方針に掲げた「中間支援組織」とはどのような組織か、その目的は何か伺う
- (3) 独居老人及び老人二世帯の孤立化の防止に「地域包括ケア推進計画」と連携した自治会活動、または地域福祉活動で健康老人による老老見守りネットワーク制度の創設は考えられないか伺う
- (4) 各地域、自治会活動の中から、モデル的活動を選定し、顕著な成果が認められる団体、個人を市長が顕彰する制度を創設する考えはないか伺う

### 3 行政改革について (答弁：市長)

- (1) 平成18年度から7年間で114人の大幅削減によって、一人一人の業務が増大して、停滞は生じていないか。市民サービスへの影響はないか。職員の士気の低下が生じていないか伺う
- (2) 職員の意識改革と庁内の改革を軌道に乗せることが必要とのことであるが、具体策と進捗状況を伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	8	氏名	柴田正美	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

### 1 浜岡原発・防災対策について (答弁：市長・教育長)

- (1) 市長は、保安院の裁定による5号機の再起動に賛成した。今でも妥当と考えるのか
- (2) 浜岡原発は、震源域真上にある。3連動地震や「完新世段丘」の知見から想定される地震と津波に耐えられるとの見解か伺う
- (3) 中電は、砂丘で大丈夫と言っており、裕度向上の「18メートルの防波壁」で万全の立場だが、砂丘、防波壁は津波に耐えられるのか、市長の見解を伺う
- (4) 浜岡原発の100%の安全性と永久停止・廃炉に対する市長の見解を伺う
- (5) 新しく改訂された小・中学校「副読本」を全生徒に配付は許されない。見解を伺う
- (6) ヨウ素剤は年齢にこだわらず、重複配布を。保管場所と配布方法の再検討の考えはないか伺う。
- (7) 中電、保安院以外の専門家の意見を聞く原発学習会の開催の必要性はどうか
- (8) 「緊急防災・減災事業」の効果的活用で5つの津波避難タワーを早期着工できないか伺う

### 2 TPP問題について (答弁：市長)

- (1) 農産物、公的医療制度、政府・自治体の発注、保険分野、労働制度などへの影響をどのように考えているか伺う
- (2) 「毒素条項」(ISD条項)に対して市長はどう考えるのか伺う

### 3 市民へ深刻な負担増、公正・公平な市政運営について (答弁：市長・教育長)

- (1) 国保税1億円が足りないとして引き上げたが、22年度決算、23年度決算見込みでは余らせている。市民に返還すべきでは、見解を伺う
- (2) 介護保険料の引き上げ回避を。一般会計から繰り入れは可能か否か見解を伺う
- (3) 下水道事業と市町村設置型合併浄化槽事業の使用料について、下水道と比べて合併浄化槽の方が電気代＝ブロー代に毎月1,600円ほど負担が多い。事業費を比べれば1戸あたり500万円と100万円であり、何らかの配慮が必要では

ないか。市長の見解を伺う

- (4) 燃えないごみの収集方法が、掛川区域と大東・大須賀区域で異なる問題、より進んだ方向性が望ましいが、お年寄りへの配慮も考えた統一が必要ではないか。見解を伺う
- (5) 市営住宅の入居で保証人二人が必要だが、確保できなければ路上に放り出されるのか、生活保護でも住所がなければ適用されないのか、見解を伺う
- (6) 保育所入所基準指数表適用では正社員が入所しやすく、契約社員やパートは排除されるのではないか。見解を伺う

#### 4 都市計画税の見直しについて

(答弁：市長)

- (1) 辺地について、平成21年6月議会は「より受益がある」一昨年12月議会では「全く受益がないから見直す」180度違う見解はおかしくないか、見解を伺う
- (2) 三橋委員長の「辺地という形式的基準はおかしい」「100点とかではなく、受益があるか否かが課税の基準」「受益がないところは他にもあるから引き続き検討し、説明責任全うせよ」これを尊重したいとなぜ言えないのか、見解を伺う
- (3) 全部に課税できる場合と一部にしか課税できない場合、それぞれどのような場合か課税基準を市民がわかるように示せ、見解を伺う
- (4) 「都市計画区域」は開発する地域と抑制する地域を想定。線引自治体では「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分する。非線引自治体でも都市施設を定めるところと抑制するところは存在するのでは、見解を伺う
- (5) 掛川市の用途地域外で、和田岡・原谷・倉真・東山・上内田は都市計画事業がやられていないことがわかった。その他どこの地域が全く行われていないか伺う
- (6) 国交省の「都市計画運用指針」で、「用途地域は都市施設を定め」「用途地域外は望ましくない」とある。抑制する地域にも同じ課税では理屈が通らないのでは、見解を伺う
- (7) 「地方税法 702条」の「都市計画法に基づいて行う都市計画事業」や「事業に要する費用」の規定は厳格に守られているのか伺う
- (8) 「地籍調査」の進捗率、大東・大須賀 100%。「掛川区域」の指標は。本年は何%進捗させるか。課税標準があやふやでは公平・公正な課税とは言い難いのでは
- (9) 都市計画税の充当や余剰、そして積立を市民にわかりやすく示すために特別会計にすべきです。全国では88.5%が特別会計を設置している。例えば富士市や京都市のように各事業ごとの充当額や充当率を明確に示せ、見解を伺う

## 一 般 質 問 通 告 要 旨

議席番号	4	氏名	山 本 行 男	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	---------	-----------------

### 1 職員による不祥事について伺う

(答弁：市長)

- (1) 改善が生かされないのはなぜか伺う
- (2) 今後の対応について伺う
- (3) 職員の意識改革が必要と思うが、見解について伺う

### 2 岩手県山田町、大槌町の瓦れき受け入れについて伺う

(答弁：市長)

- (1) 3月1日の県からの説明への対応について伺う
- (2) 島田市の瓦れき試験焼却をどのように見たか、見解を伺う
- (3) 自治会及び反対や不安を抱く市民への対応はどうか伺う
- (4) 瓦れき焼却受け入れについて菊川市との協議の状況について伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	2	氏名	榛葉正樹	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

### 1 観光振興について

(答弁：市長)

- (1) 新東名高速道路が4月に供用開始となるが、当市を取り巻く環境、交通インフラを生かした観光行政のビジョンを伺う
- (2) 誘客対策について伺う
- (3) 観光客受け入れ対策について伺う
- (4) 広域観光について伺う

### 2 情報化政策推進について

(答弁：市長)

- (1) 地域SNS「e-じゃん掛川」のこれまでの評価を伺う
- (2) 来年度から市の直接運営方式となるが、今後の運営をどのように考えているのか
- (3) 光ファイバー網整備の進捗状況及びICT格差是正の施策を伺う
- (4) 「個人識別番号法案」(マイナンバー)が先日閣議決定されたが、法案に対する市長の考えは。市としての今後の取り組みを伺う
- (5) 基幹業務システムのクラウド化について今後の展開を伺う
- (6) 情報化政策に対する職員の意識はどうか

## 一般質問通告要旨

議席番号	20	氏名	水野 薫	質問の方式 (一問一答・総括)
------	----	----	------	-----------------

### 1 新年度に向けての市長の政治姿勢について (答弁：市長)

- (1) 就任後3年を経過しようとしているが振り返っての感想を伺う
- (2) 4年の節目の年に対する市長の決意と将来の掛川のあるべき姿について伺う
- (3) 危機管理部を設置した目的と期待するものは何か

### 2 安全・安心施策について (防災・減災) (答弁：市長)

(地震対策について)

- (1) 公共施設の耐震化と民間施設の耐震化についてどのように把握しているか伺う
- (2) 道路・橋梁の耐震性と老朽化対策はどのようなか
- (3) 下水・水道等のライフラインの耐震性と老朽化対策はどのようなか

(津波対策について)

- (4) くにやす苑は海拔3.7メートルの位置にある。津波に対する対応を示されたい
  - (5) 津波避難タワー・命山等に対する今後の計画はどのように考えるか
  - (6) 太平洋岸自転車道・国道150号線を嵩上げして防波堤の役目を期待する声が多いがどのように考えるか
  - (7) 海岸の砂丘・防災林の整備は重要である。砂防・植樹等の充実が必要である。対応を伺う
  - (8) 避難路・避難場所なども明記した充実した避難マップを作成すべきであるが、どのように考えるか
- (防災訓練について)
- (9) 今までの防災訓練を見直し、新しい訓練方法を研究すべきであり、併せて原子力災害に対する訓練も行うべきであると考えているがどうか
  - (10) 今は情報が錯綜しすぎている。科学的に検証された情報を発信すべきと思うがどうか

### 3 学校教育の中で正しい原子力の知識、放射能・放射線の教育が必要と思うが現状はどのようなか、今後どうするかを伺う (答弁：教育長)

#### 4 産業問題について

(答弁：市長)

- (1) 震災後の市内企業の考え方はどうか、それに対する対応は
- (2) 企業の誘致の現状はどのようなか、また今後の見通しはどのようなか
- (3) 平成23年度の農業生産額はどのようなか、風評被害の影響はあるか
- (4) TPP問題も含めて農業施策が不安定で閉塞感が漂っている。市として対応を考えているか
- (5) 耕作放棄地問題と担い手問題は重要である。対応は
- (6) 再生可能エネルギーに関し、南部には風力発電はあるが、メガソーラーに対する考え方を伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	7	氏名	鈴木久男	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

### 1 当面する行財政問題について (答弁：市長)

- (1) 財政硬直化の原因はバブル経済時に(財)開発公社に委ねて行った、積極的な都市整備等ハード事業への先行投資が起因とされているのか  
(順調に売却できると判断していた資産が、想定外の土地価格暴落で塩漬けされ、遊休地化したと解釈してよいのか)
- (2) 閉塞感を払拭するため、膨大な債務により開発された新エコポリス第2期工業団地への企業誘致を促進し、雇用の場の確保、財政的リスクの軽減を図ることが必要と思うが対応策を伺う (立地の引き合いの状況や、今後の予測は)
- (3) 低経済成長期といわれる現在、少子高齢化社会の進展する中で肥大化した財政をスリム化し、投資効果に見合った事業実施等、身の丈にあった財政運営をする時代が到来したと考えるがその見解と対応について伺う
- (4) 財政難の中ではあるが、いわれて久しい東海地震発生時等の市民の当面の生活支援等の備えのため、合併前の町にあった災害対策基金の積立が必要と考えるが見解を伺う

### 2 新体制での行財政改革審議会の運営方針について (答弁：市長)

- (1) 3年目の取り組みと運営方針や内容について伺う

### 3 新病院開院1年前の準備状況について (答弁：市長)

- (1) 医師団が働きやすい環境づくりの体制整備について伺う
- (2) 中東遠総合医療センターの名称に相応しい位置づけとは何か伺う
- (3) 地域医療再生計画の基に、近隣市町の公立病院間の連携と、役割分担 (機能分担) は図られているか伺う
- (4) 開業医 (小笠医師会・袋井医師会) との医業連携はどのように図られているか伺う
- (5) 掛川市、袋井市の後方支援病院のあり方の違いに課題はないか伺う
- (6) 新病院運営費の負担割合は建設費負担金と同じと解釈して良いか伺う

4 4月から実施される中学校武道教育必修科の受け入れ体制について

(答弁：教育長)

- (1) 市内9校における武道3種目の取り組み体制(指導者・指導体制・安全対策)について伺う
- (2) 在学3年間同じ種目の授業を受けるとしたら、基礎(基本)知識だけでなく実技訓練が伴うのか伺う(その場合有段者等、指導者資格が伴うのか)
- (3) 安全対策や指導方針について、保護者の意見や要望を聞いた経過があるのか伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	12	氏名	山崎 恵司	質問の方式 (一問一答・総括)
------	----	----	-------	-----------------

### 1 東日本大震災の掛川市の支援について (答弁：市長)

- (1) 被災地への支援はどのように行ったか。今後の支援策を伺う
- (2) 被災地の瓦れき処理について、市としてどう対応するか伺う

### 2 幼児教育について (答弁：教育長)

- (1) さかがわ幼稚園の完成で掛川地区の8園化構想が完了した。この計画の成果と課題について伺う
- (2) 公立と私立の幼稚園保育料の差が大きいが、どのように考えているか伺う
- (3) 南部地域の幼児教育をどう進めていくのか見解を伺う

### 3 中東遠総合医療センターについて (答弁：市長)

- (1) 開院に向けて公共交通アクセスについて、掛川・袋井の全体像はどうか伺う
- (2) 新病院は両市民にとって誇りを持てる病院にするため、どう考えているか伺う

### 4 新東名高速道路県内開通について (答弁：市長)

- (1) 掛川市の北の玄関として、どう取り組んでいくのか伺う
- (2) 森掛川インターチェンジの掛川地域の道路網をどうみているのか伺う
- (3) 県知事は新東名高速道路を軸として内陸フロンティア構想を呼びかけているが市としての方向性について伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	3	氏名	川瀬守弘	質問の方式（一問一答・総括）
------	---	----	------	----------------

1 複合災害を想定し、原子力防災訓練が行われたが、市としての訓練内容、今後の課題について伺う（答弁：市長）

2 「瓦れき」問題への対応について（答弁：市長）

(1) 現在の事態は、東電と原発を推進してきた国の施策によって引き起こされたものである。放射線被曝は「少なければ少ないほど良い。」のが原則である。やみくもに広域処理を推進することは、汚染拡散で新たな被曝を引き起こすことにならないか見解を伺う

(2) 危険物は「集中管理するか、分散管理するか。」のいずれかだが、1カ所に囲い込んで集中管理しておけば、別の方法が開発された場合、切り替えができる。分散管理は基本的に選択すべきではない。見解を伺う

(3) 現地処理を国と東電の責任で急いでやらせる。かさばる「瓦れき」が放射能をばらまかないように、わずかばかりの量をコンテナに封じ込め、長距離を運んでくるというが、非合理極まるやり方ではないか。見解を伺う

(4) 広域処理を進めるにあたっては、情報の公開、徹底した安全の確保、住民への丁寧な説明と合意形成が必要であり、説明責任は政府おのずから果たすべきと考えるが見解を伺う

3 「危機管理」への対応について伺う（答弁：市長）

(1) 東日本大震災は、我が国の危機管理のあり方を根底から問い直すものとなった。新年度、危機管理監を新設、総務部から独立、フリーハンドで専任できることは東海地震・大津波・「原発」と課題を抱える当地にとり、時宜にかなった対応と考えるが見解を伺う。

(2) 防災担当課の体制強化・地域担当職員を増やし、各地の自主防災組織の確立、また民間ボランティアの育成強化・組織化を地域に入れるなどして、積極的に行うべきと考える。減災に向け、日常的な指導・活動体制を抜本的に強化することが必要と考えるが見解を伺う

#### 4 行財政改革と市民が求めているものについて

(答弁：市長)

- (1) 「将来負担率」ワーストワンからの脱却、10年間で100億円の借金削減。3年前の公約である。国の悪政のもと、市民要求に応えながら、借金を減らしていくことは並大抵ではないが、これまでの市政が野放図に拡大してきた借金政策から転換して借金を減らしていくことは多くの市民が願っている。大震災後の経済情勢・国の政策を見据え、経常収支比率・将来負担比率、債務残高改めて目標を再設定すべきと考えるが見解を伺う
- (2) 「世界でも少ない日本の公務員」～合併後わずかの間に「職員削減」は進んだ。人口に対する職員数は県下23市中最少であり、職員担当面積で3位である。私は昨年復興ボランティアにわずか3日間行ってきた。そこで見たものは、組織的に訓練された自治体職員がいなかったこと。民間のボランティア団体もいまだ機能化していない。東日本大震災でも自治体職員数が少なかったことが被災者の増大を招き、災害復興にも問題があったと指摘されている。東海地震の発生が心配されるこの地域においては、大東支所・大須賀支所を含む重点的配備が必要と考える。また専門性が必要な図書館・幼児教育など非常勤職員に頼っていていいのか。見解を伺う

#### 5 中東遠総合医療センター職員確保に向けて

(答弁：市長)

- (1) 新病院の病室モデルが展示され、新病院の骨格が組み上がり、市民の期待と関心が大きくなってきていると感じている。地域住民が安心して受診でき、地域医療が充実し、何よりもそれらを支える病院職員が、生きがいと誇りを持って業務を遂行できる職場環境を実現することが今必要と考えるが見解を伺う
- (2) 看護の現場の声を聞いた。夜勤回数・負担が大きくなり、少ない人員体制から過酷な労働を強いられる。看護師への負荷がかかることは、患者への安全を脅かすことになる。「希望が持てない」「本当にやっていけるのか」不安の声だが見解を伺う
- (3) 地域医療と自治体病院の再建充実、健康で安心して暮らせる地域づくりは、自治体首長と病院長の熱意とリーダーシップの発揮が大きなかぎと考えるが見解を伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	6	氏名	栗原通泰	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

### 1 自治基本条例制定と地域自治組織の一元化について伺う (答弁：市長)

- (1) 現在学区単位に形成されている組織「連合体としての自治会組織」と「地域生涯学習センター組織」、そして答申された自治基本条例の中での「まちづくり協議会」などピラミッド型組織にするため、簡素化と一元化する考えはあるのか伺う
- (2) 地域活動の充実策として、学区単位に地域担当行政職（行政職OB活用）を配置し、地域活動の基盤づくりをする考えがあるか伺う
- (3) 高齢社会を迎えたまちづくりの原点は「地域福祉活動」が原点といえる。地域福祉活動助成金制度があってもよいのではないかと考えるがいかがか

### 2 新東名供用開始と倉真第二パーキングの活用方針について (答弁：市長)

- (1) 倉真地区内に所有している市有地「倉真第二パーキング」構想は開通後どのように考え、どう進めていくのか伺う
- (2) 倉真地区のまちづくり委員会では、地場製品の販売を考えているが、掛川市として地場産品販売及び海産物販売はあるのか伺う
- (3) 他産多消への取り組みをする考えはあるのか伺う
- (4) 森掛川インターチェンジ周辺の土地利用についてはどのように考えているのか伺う
- (5) 森町とのインターチェンジ周辺の開発協議はどのようになっているのか伺う
- (6) 「ならここ」への集客策については、どのようなことを考えているのか伺う

### 3 地場産の木材活用について (答弁：市長)

- (1) 努力義務ではあるが、当市としての条例化はどのように考えているのか伺う
- (2) 当市の森林は植林から既に60年以上となり伐採適齢期を迎えつつある。森を再生させるためにも需要喚起が必要となっている。その方策についてどのように考えているのか伺う
- (3) 平成22年度以降の公共建築物の木材利用目標と施工率はどうか伺う
- (4) 新病院の木材利用目標は設定されたのか伺う